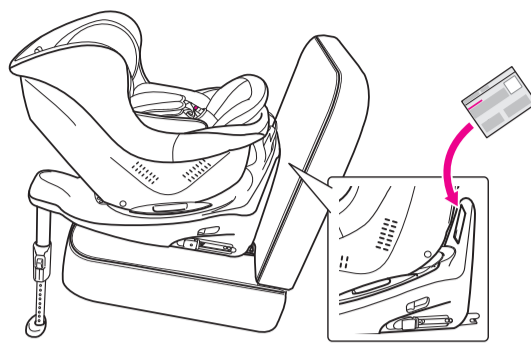


# 取扱説明書 保証書付

## はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。  
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。  
この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。



i-Size(アイサイズ)チャイルドシート  
型式/TYPE : LYK-111  
規則/Regulation : UN R129/03  
サイズ範囲/Size Range :  
身長 40cmから105cm以下  
体重 18kg以下

リーマン株式会社 www.leanman.co.jp  
〒496-0911 愛知県愛西市西保町南川原68-1  
お客様相談室 TEL. (0567) 27-0173  
受付時間 月曜日～金曜日 (祝日・弊社指定休日は除きます)  
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

12511-10321

**表示マーク**  
この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 注意** 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
- 禁止** 図示されている内容の禁止を示しています。
- 確認** 安全のため、必ず確認していただきたいこと。
- アドバイス** より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。
- うまくいかない時は...** うまく作動しない時などに役立つ補足説明がまとめてあります。ご参照ください。

## クイックガイド/目次

本製品の扱い方を ▲ → ● → ▼ → □ → ◇ の順で表示してあります。

▲ 事前準備	● お車に取付ける	▼ 幼児ベルトの調整	□ お子さまの乗せ降ろし	◇ メンテナンス
<ul style="list-style-type: none"> <li>1 i-Size (アイサイズ) とは</li> <li>2 ISOFIX とは</li> <li>3 適合の確認</li> <li>4 作業スペースの確保</li> <li>5 各部名称</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6 使用条件の確認</li> <li>7 リクライニングのしかた</li> <li>8 シートの回転のしかた</li> <li>9 ご使用上の警告/注意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 サポートレッグを起こす</li> <li>2 ISOFIXコネクタを差し込む</li> <li>3 サポートレッグを調節する</li> <li>4 取付けを確認する</li> <li>5 お車から取り外す</li> <li>6 オプション(キャノピー)の使用法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 幼児ベルト調節の仕方</li> <li>2 幼児ベルト位置の目安</li> <li>1 乗せる準備をする</li> <li>2 お子さまを座らせる</li> <li>3 お子さまを拘束する</li> <li>4 拘束ポイントを確認する</li> <li>5 お子さまを降ろす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 インナーパッドを取りはずす</li> <li>2 カバーを取りはずす</li> <li>3 洗濯と日常のお手入れ</li> <li>4 保管/廃棄の仕方/製品仕様</li> </ul>

## 事前準備

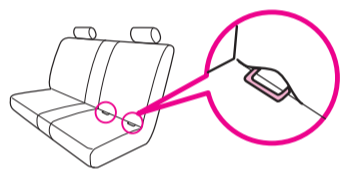
### 1 R129とは i-Sizeとは

R129とは、精度の高いダミー人形の使用や側面衝突に關しての試験等、これまで以上に厳しい内容を定めたチャイルドシートに関する国連規則です。  
i-Sizeとは、お客様が簡単・確実に取り付けすることが出来る ISOFIX 固定方式を用いたチャイルドシートのカテゴリーです。i-Size 適合車両のシートには、全般的に適合します。 ※それ以外の車両のシートについては、車両適合表をご確認ください。また i-Size チャイルドシートでは、お子さまの成長にあわせて性能を発揮する為、お子さまの身長にあわせた使用方法とし、生後 15 ヶ月までは後向きでの使用が義務付けられています。



### 2 ISOFIXとは

ISOFIX(アイソフィックス)とは、国際標準化機構によって定められた車両のシートにチャイルドシートを固定する方式で、車両シートに設置された ISOFIX 取付け金具を使います。本製品は、i-Size 適合の車両だけでなく、ISOFIX 表記のある車両に使用することが出来ます。



### 3 適合の確認

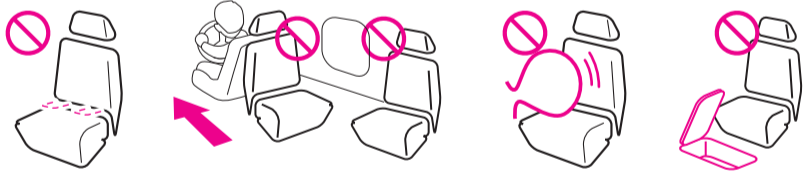
- 本製品は、i-Size(アイサイズ)幼児拘束装置です。
- 本製品は、車両メーカーの取扱説明書によって示されるアイサイズ適合車両の着座位置で主に使用するものとして UN 規則 No.129(UN R129/03) に基づいて認可されています。
- 本製品は、お子さまの身長に対し、下表の ISOFIX チャイルドシートに対応した車両に取り付けることができますが、ISOFIX 取付け金具を装備したすべての車両に取り付けられるものではありません。弊社車両適合表及び、車両メーカーの取扱説明書をご確認ください。

お子さまの身長	取り付け可能なサイズ等級	固定具
40~83cmまで	D	ISO/R2
76~105cmまで	B1	ISO/F2X

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

### 取付けできないシート

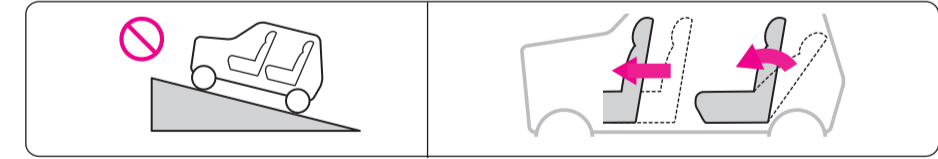
- ISOFIX 取付け金具が装備されていないシート。
- 横向き、後向きになっているシート。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- チャイルドシートを取付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート。
- 前方にエアバックが装備されているシート。(サイドエアバックのみの場合は使用できます。)
- 助手席には取り付けしないでください。
- 足下に床下収納ボックスが装備されているシート。
- 極端なバケットシート等、しっかりと固定ができないシート。



シートベルトでは絶対に取付けしないでください。衝突時などに本来の性能を発揮できず、重大な傷害を負う可能性があります。

### 4 作業スペースの確保

- 安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。**
- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
  - 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
  - お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきタンブがバックルからはずれていないことを確認してください。
  - 事故の衝撃や製品の落下など一度でも衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用せず交換してください。
  - 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してからご使用ください。
  - 本製品を改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
  - シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。)
  - 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
  - お子さまを車内にひとりで放置することは絶対にしないでください。
  - 運転中に本製品の操作(回転・ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
  - 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
  - お子さまの負担を考慮し1時間以上連続して使用しないでください。
  - エアバック装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバックの作動により強い衝撃を受け危険です。

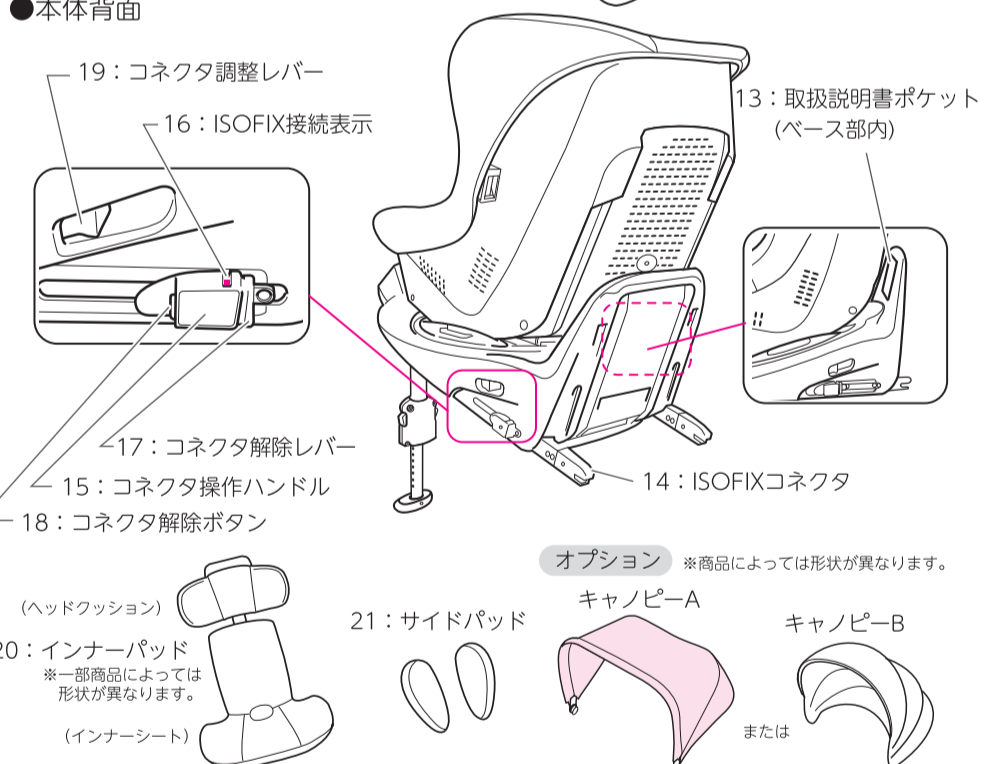
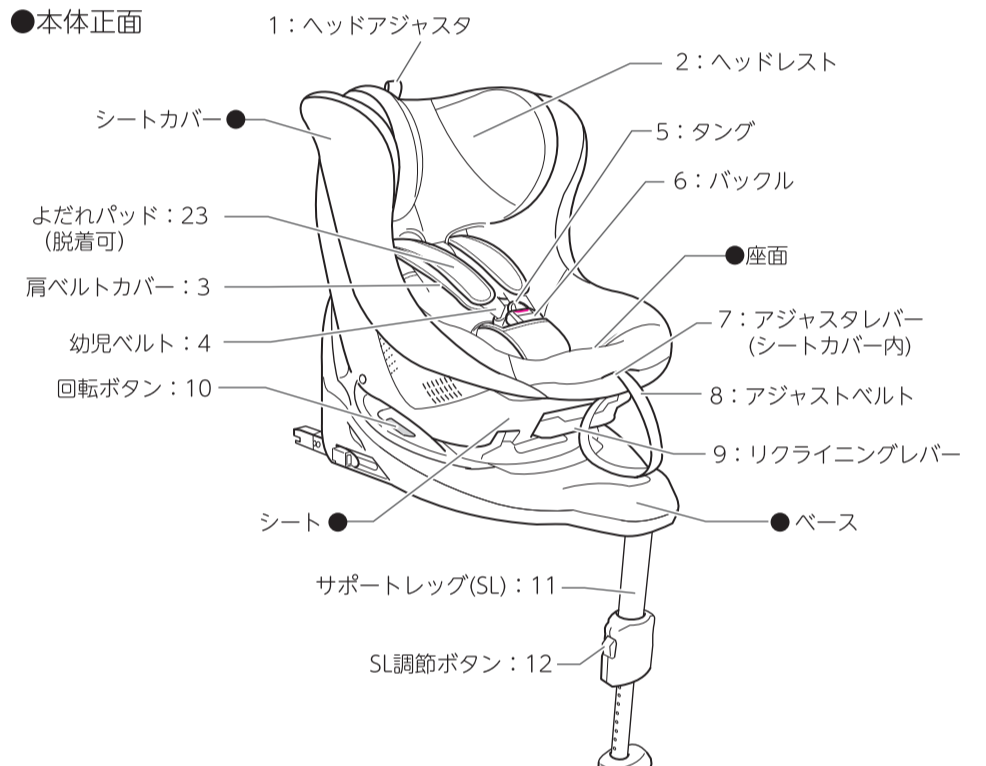


### 9 ご使用上の警告/注意

- 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- 本製品のバックルをはずしたままの使用は危険です。絶対にしないでください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきタンブがバックルからはずれていないことを確認してください。
- 事故の衝撃や製品の落下など一度でも衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用せず交換してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してからご使用ください。
- 本製品を改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとりで放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作(回転・ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
- お子さまの負担を考慮し1時間以上連続して使用しないでください。
- エアバック装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバックの作動により強い衝撃を受け危険です。

### 5 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。  
※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。また、製品性能向上のため予告なく仕様変更することがあります。



- 付属品**
- 取扱説明書(保証書付)
  - チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ
  - プライバシーシール
- ※お客様登録ハガキが付属している商品はチャイルドシート保険が付帯しております。ご購入後、必ず必要事項をご記入の上、投函してください。

### 6 使用条件の確認

お子さまの身長に合わせ、「後向き」と「前向き」の2つの取付け向きで使用します。

- 下記の条件を満たさない使用は、絶対にしないでください。
- お子さまの月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。

身長 40~83cm	身長 76~105cm
<p>月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。</p> <p><b>後向き取付け</b></p> <p>※裏面参照</p> <p>身長 60cm</p>	<p>月齢が15ヶ月までは身長が76cmを超えても後向きで使用してください。</p> <p><b>前向き取付け</b></p> <p>※裏面参照</p> <p>身長 60cm</p>
<p>●横向きの状態では走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。(お子さまの乗せ降ろしのときのみ横向きで使用してください。)</p>	
<p>●サイドパッドはお子さまの成長にあわせてご使用ください。(窮屈になった場合は取りはずしてください)</p>	

### 7 リクライニングのしかた

「後向き」「前向き」使用時、お子さまの身長にかかわらず、3段階に角度を調節することができます。

A シートの下にある[9: リクライニングレバー]を引き上げながら、シートのリクライニング角度を調節します。(前向き/後向きともに3段階)

B レバーから指を離してシートをリクライニング方向にゆずり、ロックされていることを確認する。本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。※ぶつかっていても無理な操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。
- ベース背面やシートの背面、リクライニングレバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、リクライニング操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりとリクライニングさせてください。お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 「後向き」使用時、お子さまの足がベース背面にある取扱説明書ポケットに入った状態でリクライニング操作をしないでください。

### 8 シートの回転のしかた

どのリクライニングの角度でも、お子さまの乗せ降ろしをしやすいように、シート部を回転させることができます。

A ベースにある[10: 回転ボタン]を押しながら、シートをまわす。動き始めたら回転レバーから指を離し、「カチッ」と音がしてロックするまでまわす。シートが「後向き」または「前向き」の位置で固定します。

B シートを回転方向にゆずり、ぐらつきがないことを確認する。

※回転構造上シートに遊びがあり、カタカタと音が出ますが、問題なく使用できます。

本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかって回転操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。※ぶつかっていても無理な操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。
- 本製品のシートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。(お子さまの乗せ降ろしのときのみ横向きでご使用ください。)
- ベース背面やシートの背面、リクライニングレバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 「後向き」使用時、お子さまの足がベース背面にある取扱説明書ポケットに入った状態で回転操作をしないでください。
- チャイルドシートの背もたれを開けたドア側に回転させないでください。ドアを開けた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。

## 緊急時には...

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

バックルの赤いボタンを押し、タンブをはずします。

幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。

バックルの赤いボタンを押しても、タンブがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

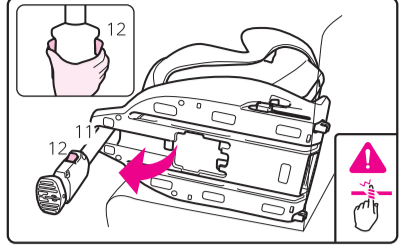
# お車に取付ける ※作業スペース確保のため、ISOFIX取付け、取りはずし操作は前向きに回転させた状態での操作をおすすめします。

詳しい取付け方を動画で確認できます▶▶▶



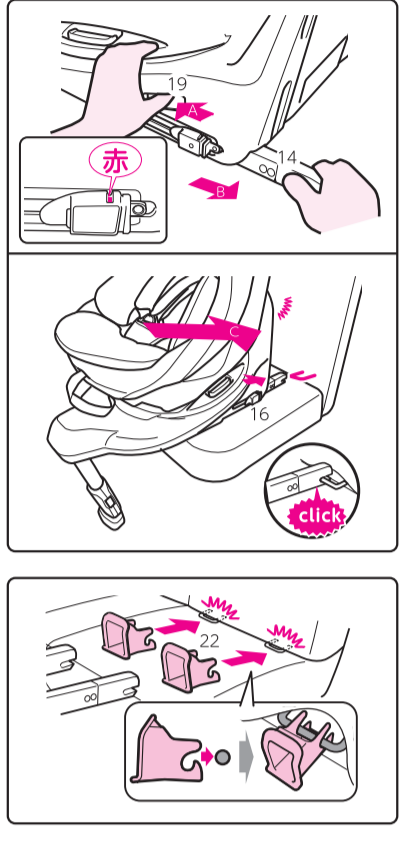
## 1 サポートレッグを起こす

A 作業するスペースを充分に確保し本体を横に寝かせ  
B [11: サポートレッグ] を起こす  
[12: SL 調節ボタン] を押しながら先端部をサポートレッグ調節ボタン方向に引くと本体から離れ、フリーになります。  
[12: SL 調節ボタン] を押しと [11: サポートレッグ] を伸縮できますが、まだ伸ばさないでください。  
C [11: サポートレッグ] 先端を手で抑えながら、本体を起こします。  
⚠️ [11: サポートレッグ] 操作時は、ベースとの隙間などで手、指などを挟まないように注意してください。 **思わぬ重傷を負う可能性があります。**  
● [11: サポートレッグ] は本体から離れると固定されません。 自分で動く [11: サポートレッグ] の手や指などを挟まないように注意してください。  
● 本製品を移動する際には、[11: サポートレッグ] が動かないように抑えてください。



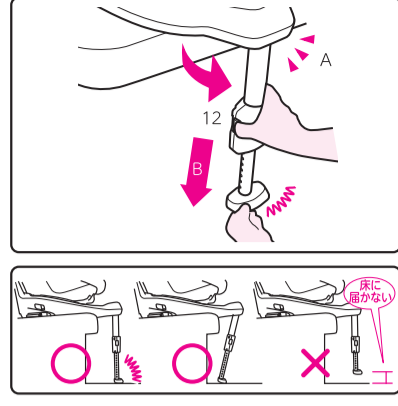
## 2 ISOFIXコネクタを差し込む

A [19: コネクタ調整レバー] (左右のどちらか) を押しながら  
B 左右の [14: ISOFIX コネクタ] を最大限引き伸ばす。(片側操作で左右運動します)  
⚠️ [15: コネクタ操作ハンドル] の [16: ISOFIX 接続表示] が「赤色」になっていることを確認してください。「緑色」の場合は [18: コネクタ解除ボタン] を押しながら [17: コネクタ調整レバー] を押し、[16: ISOFIX 接続表示] を「赤色」にしてください。  
C ISOFIX 取付け金具の位置を確認し、製品全体をゆっくりと押し込み、左右の [14: ISOFIX コネクタ] を ISOFIX 取付け金具に接続する。  
D 「カチッ」と音がして左右の [ISOFIX 接続表示] が「赤色」から「緑色」に変ったことを確認する。  
E [19: コネクタ調整レバー] (左右のどちらか) を指で押したまま、製品全体を車両の背もたれに強く押し付け、そのままの状態でもコネクタ調整レバーから指をはずす。  
F 製品を前後させ、[14: ISOFIX コネクタ] が伸縮しない(ロックされている)ことを確認する。  
※参照 ①  
⚠️ ISOFIX 取付け金具が座席に隠れて見えにくい場合は [22: 取付けガイド] を使うことで取付けやすくなります。  
車両座席によって、[22: 取付けガイド] を取付けできない場合や必要ない場合は、[22: 取付けガイド] を使わずに取付けてください。



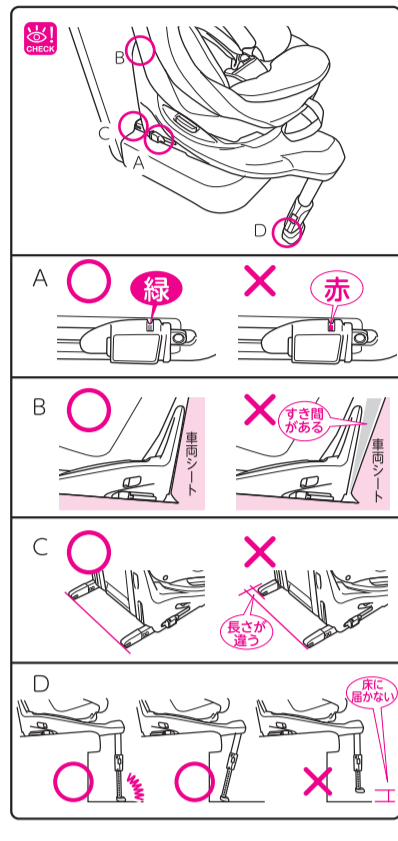
## 3 サポートレッグを調節する

A [11: サポートレッグ] がいびち開いた状態で、調整します。  
B [11: サポートレッグ] の先端部を持ち、左右の [12: SL 調節ボタン] を押しながら、サポートレッグの先端が車両の床面に届くまでゆっくり伸ばす。  
⚠️ 長さが合わない場合はベース前方を少し持ち上げて、1段階長めに伸ばしてください。  
⚠️ [11: サポートレッグ] が車両の床面から離れていないこと。衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。



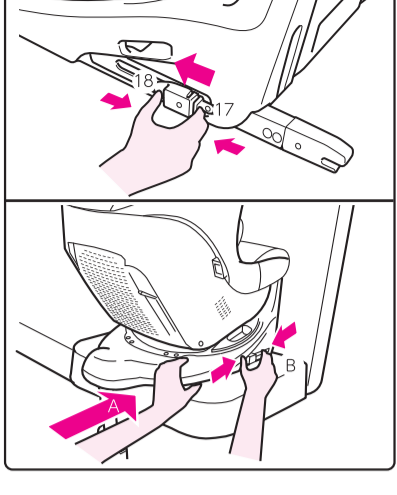
## 4 取付けを確認する

取付けが終わったら本製品がしっかり固定されていることを確認します。しっかり固定されていないと衝突の際、充分性能を発揮できません。  
A 左右の [16: ISOFIX 接続表示] が「緑色」になっていることを確認する。  
B 車両シートの背もたれにベースが接していること。車両によっては、しっかり押し込んでも完全に接しない場合があります。車両シートの背もたれがクライニング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調整してください。  
C 左右の [14: ISOFIX コネクタ] が同じ長さになっていること。  
D [11: サポートレッグ] が車両の床面にしっかり接していること。  
⚠️ A-D を確認し、しっかり固定できていない場合は一旦取り外し(⑤参照)、もう一度 ISOFIX コネクタの差し込み操作(②A) からやり直してください。  
⚠️ うまくいかない時は。  
① ISOFIX接続表示が緑色に変わらない。  
→ 車両の ISOFIX 取付け金具にしっかり接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、もう一度 ISOFIX コネクタの差し込み操作をやり直してください。



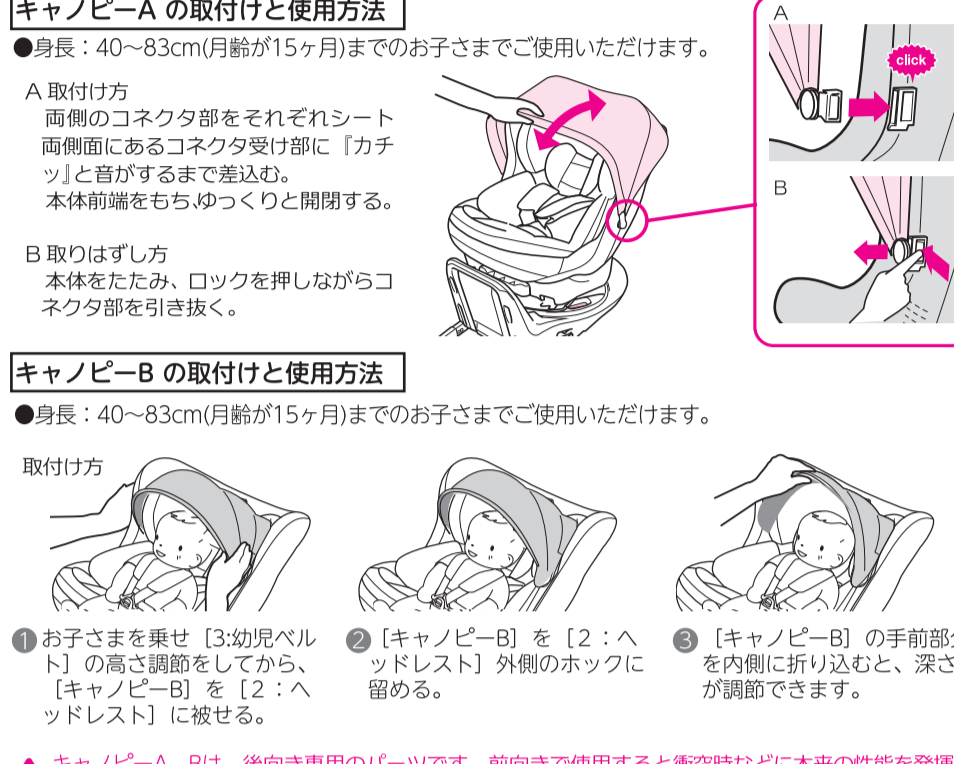
## 5 お車から取りはずす

取りはずし操作は片側ずつ操作して下さい。  
[18: コネクタ解除ボタン] を押しながら [17: コネクタ解除レバー] を押し、[14: ISOFIX コネクタ] を車両の ISOFIX 取付け金具の接続を解除します。解除した状態で、ベース(操作している側)を少し手前に引き、[14: ISOFIX コネクタ] を引き出します。  
大きく引き出すと反対側の操作がしにくくなります。  
⚠️ コネクタの解除が固い場合  
車両シートの反発力によって、コネクタ解除が固くなる場合があります。固い場合は下記の方法で片側ずつ解除してください。  
A 前方片側の端を持ち、本体を車両シートに押しつけながら、  
B 上記、ISOFIX コネクタ取りはずし操作を行ってください。



## 6 オプション(キャノピー)の使用方法 ※商品によってはキャノピー形状が異なります。

**キャノピーAの取付けと使用方法**  
●身長: 40~83cm(月齢が15ヶ月)までのお子様までご使用いただけます。  
A 取付け方  
両側のキャノピーをそれぞれシート両側面にあるコネクタ受け部に「カチッ」と音がするまで差込む。  
本体前縁をもちゅつくりと開閉する。  
B 取りはずし方  
本体をたたみ、ロックを押しながらコネクタ部を引き抜く。  
**キャノピーBの取付けと使用方法**  
●身長: 40~83cm(月齢が15ヶ月)までのお子様までご使用いただけます。  
取付け方  
① お子さまを乗せ [3: 幼児ベルト] の高さ調節をしてから、  
② [キャノピー-B] を [2: ヘッドレスト] 外側のホックに内側に折り込むと、深さが調節できます。  
③ [キャノピー-B] の手前部分を内側に折り込むと、深さが調節できます。  
⚠️ キャノピーA、Bは、後向き専用(1)ーツです。前向きで使用すると衝突時に本来の性能を発揮できず、重大な傷害を負う可能性があります。  
⚠️ ●本製品を持ち運ぶ際は、キャノピー部分を持たないでください。  
●キャノピーの上部に、ものを載せないでください。  
●キャノピーに、おもちゃなどを取付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。  
●キャノピーを取りはずす際は、お子さまの手が届かない場所で保管してください。  
●芯材が曲がるなどにより変形した場合は、使用しないでください。  
●破損や破れが生じた場合は、使用しないでください。芯材が露出し危険です。  
●本製品以外での使用や、本来の目的以外の使用はしないでください。

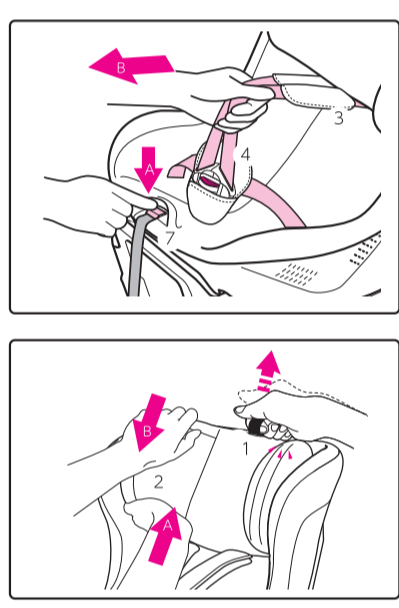


## 幼児ベルトの調整

※オプションのキャノピーが付属している商品ではキャノピーをはずして、高さ調節をおこなってください。

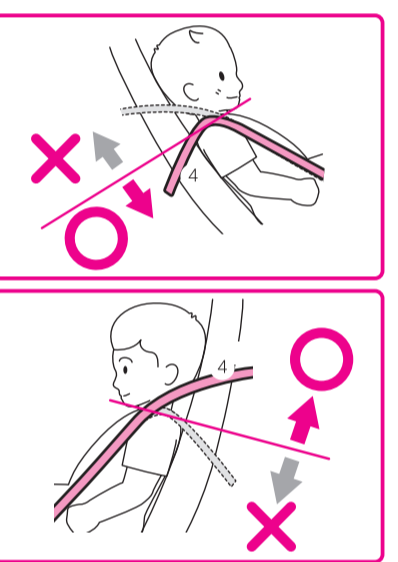
### 1 幼児ベルト調節の仕方

**幼児ベルトをゆるめる**  
A [7: アジャスタレバー] の奥側を押ししながら、  
B 左右両方(2本)の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。  
⚠️ 幼児ベルトをゆるめる際は [3: 肩ベルトカバー] を持って引っ張らないでください。  
**幼児ベルト高さ調整**  
ヘッドレスト高さを変更すると、連動して幼児ベルト高さが変わります。  
[1: ヘッドアジャスター] を引いた状態を保ったまま [2: ヘッドレスト] を上または下へ動かす。  
⚠️ A 上げる場合は、ヘッドレストの下から持ち上げ、  
B 下げる場合は、ヘッドレストの上から引き下ろす要領で行います。



### 2 幼児ベルト位置の目安

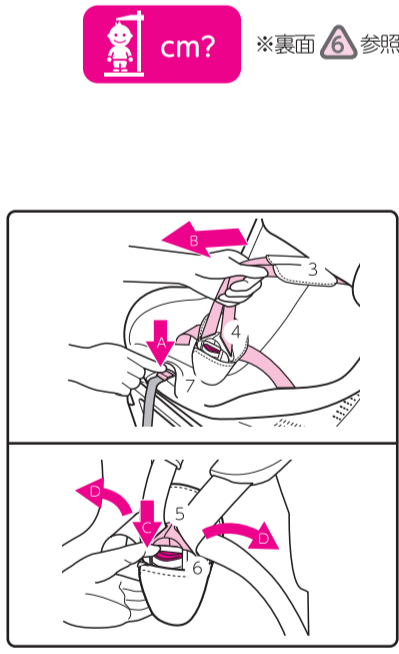
⚠️ ●肩ベルトの位置は、取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。  
●工場出荷時は、一番下の位置にセットされています。  
40~83cm 後向き使用時  
お子さまの肩と同じ高さか、やや低めから [4: 幼児ベルト] が出る位置になるように [2: ヘッドレスト] 高さを調節します。  
76~105cm 前向き使用時  
お子さまの肩と同じ高さか、やや高めから [4: 幼児ベルト] が出る位置になるように [2: ヘッドレスト] 高さを調節します。



## お子さまの乗せ降りし

### 1 乗せる準備をする

お子さまの身長に合わせた使用条件(前向き・後向き)を確認する。  
⚠️ お子さまの月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。  
⚠️ 横向きの状態では使用しないでください。  
⚠️ 18kgを超えるお子さまにはご使用になれません。  
※裏面 ②参照  
お子さまを乗せやすいシートを横向きにする。  
A [7: アジャスタレバー] の奥側を押しながら、  
B 左右両方(2本)の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。  
⚠️ [3: 肩ベルトカバー] ではなく、[4: 幼児ベルト] を引いてください。  
C [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。  
D 幼児ベルトを左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。  
※参照 ②  
⚠️ 夏場などは金属部が熱くなりやすいのでやけどに注意してください。



### 2 うまくいかない時は。

② パックルの赤いボタンが固くて押せない。  
→ お子さまが誤って解除しないように固く設定してあります。片手で操作が出来ない場合は両手で押し込んでください。  
③ パックルのタングがはまらない。  
→ タングは左右別々の状態ではなりません。左右のタングを重ねてからパックルに差し込んでください。裏表に注意してください。  
④ 幼児ベルトが短い。  
→ 幼児ベルトをしっかり引き出しきれていない可能性があります。アジャスタレバーの奥側を押し込んで、幼児ベルトを引き出してください。

### 4 拘束ポイントを確認する

A 幼児ベルトを引っ張って、パックルやベルトがゆるまないか確認する。  
B 幼児ベルトがねじれたりせずに、お子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置を通っているか確認する。  
C お子さまの身長に合わせた使用条件になるようにシートを回転させ、固定する。  
⚠️ お子さまの月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。  
⚠️ 横向きの状態では使用しないでください。  
⚠️ 18kgを超えるお子さまにはご使用になれません。  
● お子さまは必ず正しく拘束してください。正しく拘束していないと衝突時に重大な傷害を負う可能性があります。  
● パックルに異物が詰まったり、飲み物がつかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。  
● お子さまの着席のたびに、必ずアジャストベルトを引き、お子さまを拘束してください。  
● かさばる服を着た状態で、本製品に座らせないでください。  
● 幼児ベルトをはずして結ぶなど、本紙に記載のないやり方でお子さまを拘束しないでください。



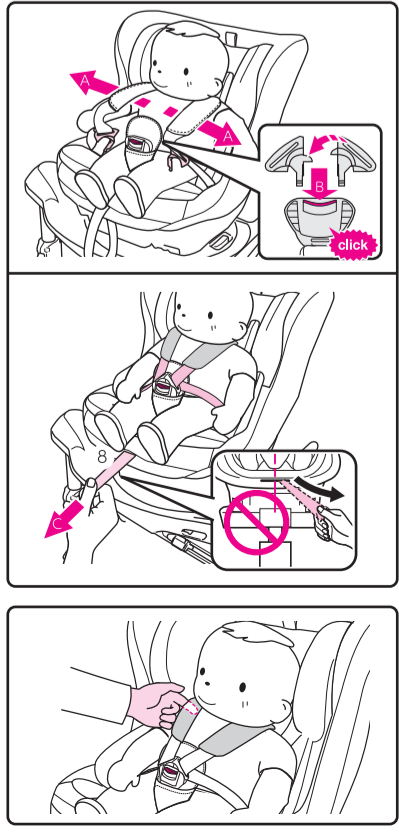
### 2 お子さまを座らせる

パックルがお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまをシートの上奥深くに座らせる。  
⚠️ 正座しないようにしてください。  
⚠️ おしりクッションの間にすき間ができないように深く座らせてください。



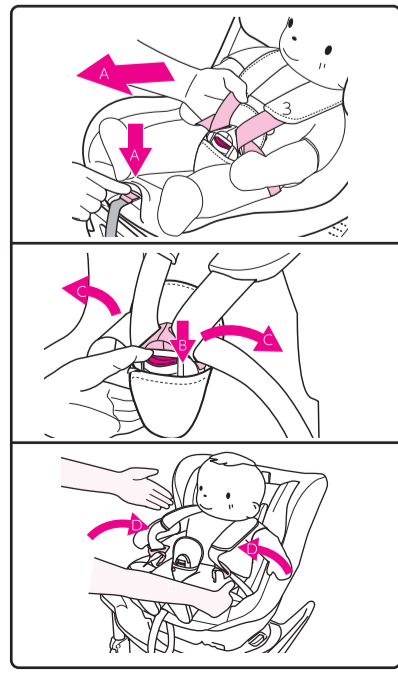
### 3 お子さまを拘束する

A お子さまの腕を幼児ベルトに通す。  
B 左右のタングを重ね合わせて、「カチッ」と音がするまでパックルに差し込む。  
※参照 ③  
C 幼児ベルトをお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、[8: アジャストベルト] をまっすぐ手前に引き、左右の幼児ベルトのたるみをなくし、お子さまに密着させる。  
※参照 ④  
⚠️ アジャストベルトを斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。  
⚠️ 幼児ベルトの調節のみやすさとしては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりするとき、幼児ベルトの長さを調節してください。



### 5 お子さまを降ろす

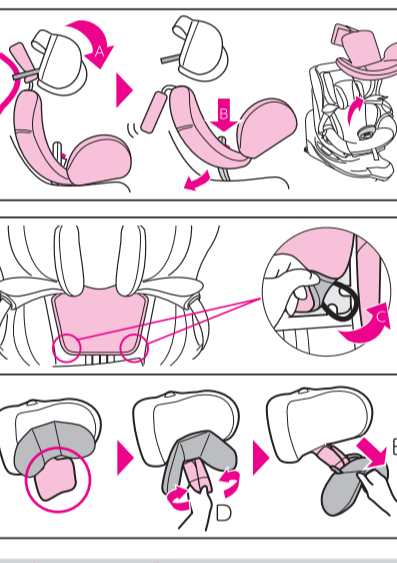
A アジャスタレバーの奥側を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。  
⚠️ このとき、[3: 肩ベルトカバー] を引かないように注意してください。  
B パックルの赤いボタンを押してタングをはずす。  
C 幼児ベルトを左右に開く。  
D お子さまの腕を幼児ベルトからはずし、お子さまをチャイルドシートから降ろす。  
⚠️ 緊急時にパックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。



## メンテナンス

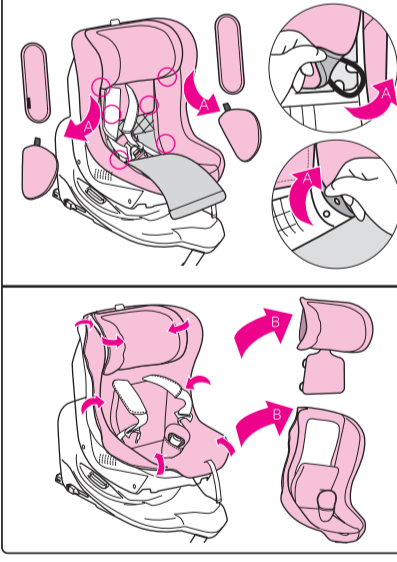
### 1 インナーパッド(インナーシート・ヘッドクッション)を取りはずす

**インナーシートのはずし方**  
A ヘッドクッションを手前に倒し、裏側のクッションを、ヒモをぐらさせながら取りはずします。  
⚠️ クッションは小さくつぶすとヒモを通過させやすくなります。  
B パックルを上方から押し込み、下から抜き取ります。  
**ヘッドクッションのはずし方**  
C 最初にゴムをはずします。  
D ヘッドクッション裏のヒモに通っているヘッドレストカバー下部を束ねる。  
E ヘッドクッションを下に引き抜く。



### 2 カバーを取りはずす

⚠️ 注意: [3: 肩ベルトカバー] は取りはずすことはできません。  
※よだれパッドは取りはずしができません。  
A ヘッドレストカバーやシートカバーそれぞれを留めているゴムやホックをはずす。  
⚠️ 最初の留め位置を覚えておいてください。商品により、留め方が異なります。  
B パックルのタングをはずしヘッドレストカバーとシートカバーそれぞれを上部から外周をめくるところにはずす。  
⚠️ 商品により、シートカバーの下にクッション類があります。



### 3 洗濯と日常のお手入れ

●取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。(一部商品によっては無いものがあります)

洗濯できるもの	洗濯できないもの

**シートカバーなどの縫製製品の洗い方**

- 30℃以下の温湯、洗濯機は弱水流または手洗いモードで洗濯してください。(洗濯ネット、中性洗剤を使用してください)
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯後は、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞ったり、風通しのよい日かげに干してください。
- アイロン掛けはしないでください。
- ドライクリーニングはしないでください。

### 日常のお手入れ方法

● 樹脂部やクッション類は水で濡らして固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。  
● 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。  
● 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。  
● 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。  
⚠️ 中性洗剤を原液で使用したり、ガンソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をためるおそれがあります。

### 4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

**保管**  
● 製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。 サポートレッグは、完全に縮めた状態でベース下部に収納後、SL 調節ボタンを操作して固定ができます。  
**廃棄**  
● お住まいの各自自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。  
● 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどははずして、廃棄してください。  
**製品仕様**  
製品サイズ W430×D717×H576mm  
材質 本体...PP、ウレタン シートカバー...表/ポリエステル 裏/ウレタン